

「心はひとつ！」 ジュニアファイブ



大徳 洋樹 選手(6年生)
「練習中は積極的に声を出し、キャプテンとして皆のやる気を引き出していきたいです」

ほくたちジュニアファイブは、6年生10人、5年生6人、4年生7人、3年生12人、2年生5人、1年生1人の計41人で、週4日間、神宮寺小学校・玉造小学校・美郷台小学校の体育館で活動しているバスケットボールチームです。

チームメイト同士の仲がよく、明るい雰囲気の中でバスケットボールを楽しんでいるほくたちですが、どのチームにも負けないくらい、練習には真剣に取り組んでいます。



素早いドリブルで
ディフェンスを突破



ドリブルからのシュート練習

バスケットボールは、パスワークをはじめとする連携プレーが重要なスポーツなので、練習中は互いに声を掛け、チームメイト同士の意思を確認し合うことを特に心掛けています。

現在のチームの課題は、ディフェンスの強化。フェイントを読んだり、パスカットのタイミングをつかんだりするため、3対3や5対5などの実戦形式のメニューに力を入れています。監督も、練習を通じて連携プレーのスピードが向上するよう、さまざまなアドバイスをしてください。

バスケットボールをやっている、一番うれしいのは試合に勝ったとき。これからも、一つでも多くの勝利を皆で分かち合えるよう、チーム一丸となって練習に取り組んでいきたいと思っています。



市民の ひろば

1

January

大栄水墨画会

墨の濃淡で
自分だけの世界を表現

大栄公民館で第2・第4木曜日に活動している大栄水墨画会です。講師は、鹿島禮子さんにお願ひしています。

一口に水墨画といっても、画法はさまざま。わたしたちは木炭でデッサンしてから、墨で色付けしていくという手法で、主に草花を描いています。

葉っぱは、元を濃く、先を薄くすると立体感が出ます。筆で墨を塗るだけでなく、上からティッシュなどで吸ったり、水だけを付けた筆でなでたり…墨の濃淡によって、対象物を感じるままに表現していきます。



皆で作品を鑑賞



繊細かつ大胆な筆使い



墨の世界を味わいませんか

描いた作品は、みんなで批評し合います。水墨画歴は20年生から1年生まで。ベテランの味のある作品や初級者の新鮮でのびのびとした作品がありますから、楽しく鑑賞していきます。描いた作品は、自宅などに飾るのももちろん、展覧会に出品することもあるんですよ。そして、年に一度、感性を磨きに美術館へ勉強会に出掛けるのが恒例の行事になっています。

水墨画にのめり込んでいくと「誰かに見てもらいたい」という気持ちかわき上がってきます。うまい・下手という技術の枠を超えた何かが、芸術にはあるのではないのでしょうか。好きこそ物の上手なれ〜といいますが、水墨画もまたしかり。好きになることが上達への早道です。水墨画は難しそうという皆さん、ぜひ墨の世界を味わってみませんか。

スクスクのびのび 351

高橋 暖々ちゃん(5歳)並木町
理央ちゃん(1歳)

「世話好きで理央に夢中な暖々とお姉ちゃんと遊ぶのが大好きな理央。いつまでも仲良し姉妹でいてね」



岡島 一真くん(1歳)飯田町

「甘えん坊のほくも1歳になったよ。これからも、もつともつと甘えるよ」



このコーナーには満5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの一枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法
お子さんの写真に住所・氏名(ふりがな)・生年月日・親の名前・電話番号・30字程度のコメントを添えて広報課へ
- 応募先
〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
- 問い合わせ
広報課 ☎20-1503

牧野 美音ちゃん(2歳)玉造
佑心くん(7カ月)

「いつも一緒に仲良し二人組。ちよつとお姉ちゃんがしつこくて迷惑なときもあるけど、いつも一人じゃないからさびしくないよ」